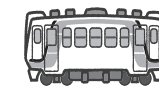




梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



初開催から40年目

平庭闘牛わかば場所 5月15日



激しくぶつかり合う熱い取り組み

2～3歳の若牛が、闘牛場と観客に慣れるための平庭闘牛わかば場所が開催され、過去最多の約900人が来場しました。若手町から訪れた民部田勝子さんは「初めて闘牛を見ましたが、若い牛ながら迫力ある取り組みを見られました。次回も訪れたいです」と声を弾ませました。

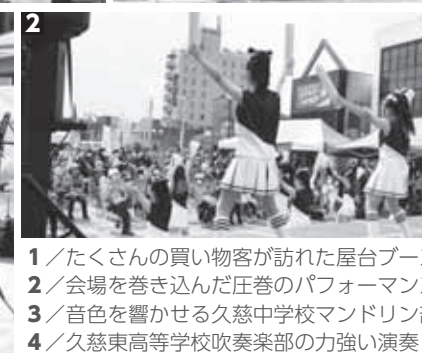
入場者30万人達成

情報交流センターYOMUNOSU30万人達成 4月26日



笑顔で30万人達成のボードを掲げる関係者ら

よむのすの入場者数が30万人を達成し、市長らが祝福しました。30万人目の来館者となったのは、本や三鉄を見に毎週利用している小笠原千鶴さんと集結さん親子。観光物産協会の山本えりこ会長は「これからもたくさん利用してください」と笑顔で記念品を贈呈しました。



1/たくさんの買い物客が訪れた屋台ブース
2/会場を巻き込んだ庄巻のパフォーマンス
3/音色を響かせる久慈中学校マンドリン部
4/久慈東高等学校吹奏楽部の力強い演奏

春の恒例イベント

久慈春まつり延期開催 5月21日

4月29日に予定していた2022くじ春まつりが延期され、5月21日に行われました。春まつり実行委員会の米内松司会長は「多くの関係機関の協力があり、春まつりを開催することができた。大いに楽しみましょう」とあいさつ。中心市街地を巡る謎解きスタンプラリーや市内3カ所に設置された屋台ブースにたくさんの人が訪れました。メイン会場のいつくし広場には、特設ステージが設置され、市内中高生の吹奏楽やマンドリン、ダンスグループなど8団体が発表。アンコールが飛び交うなど、たくさんの拍手が送られました。久慈東高等学校3年吹奏楽部の小屋敷武雅さんは「人前で緊張したけれども、楽しく演奏できた。このような機会が増えたらうれしいです」と声を弾ませました。

4階建ての新たな庁舎を整備

久慈警察署新庁舎落成式 5月17日



謝辞を述べる加藤署長

久慈警察署の落成式が行われ、関係者ら約40人が参加。加藤秀昭久慈警察署長は「より一層安全安心なまちづくりに取り組んでいきたい」と力強く述べました。4階建ての庁舎は、県北運転免許センターや高速道路交通警察隊久慈分駐隊も併設。5月2日から業務を行っています。

中高生がごみ拾い

COCO.R Growth 清掃活動 4月22日



河川敷で一生懸命に清掃活動をする中高生たち

放課後等デイサービスCOCO.R Growthの中高生5人らが長内川河川敷の清掃活動を実施しました。同活動は生徒自らが企画した活動で、本年度2年目。久慈拓陽支援高等部2年の小野寺陽仁さんは「これからも道端に落ちているごみを拾っていきたい」と思いを述べました。

継続して植樹活動

久慈ライオンズクラブ植樹活動 4月28日



16人の会員が久慈小近くの河川敷にツツジを植樹

久慈ライオンズクラブが、4月22日の地球の環境保護を考えるアースデーにあわせて、久慈川河川公園にツツジを100本、高館市民の森にサクラ3本を植樹しました。23年継続している活動で、河川敷の清掃活動も行う予定です。今後も継続して環境美化を進めていきます。

短角牛が牧草地を駆ける

エリート牧場で山上げ 5月6日



初めての放牧で牧草地を駆けあがる子牛

山形町の短角牛基幹牧場で、約150頭の山あげが行われました。冬の間牛舎で育てられた子牛と母牛が、年に1度牧草地に放牧される毎年恒例の行事で、10月中旬頃に牛舎へ戻し飼育されます。生産者は「すすくと育ち無事に牛舎に戻ってほしい」と思いを語りました。

ゲートボール競技大会

久慈市民体育大会スタート 5月15日



優勝をかけた戦いに緊張しつつも元気づけプレー

待ちに待った第17回久慈市民体育大会が開幕。各種競技種目のトップを切ってゲートボール競技大会が行なわれ、各地区の代表8チーム50名程が久慈川河川公園に集結。優勝チームには県民体育大会への出場権が与えられる大会に、大熱戦のプレーを繰り広げました。(梅沢)

活力ある小久慈を目指し

まちづくり交流会 5月15日



カフェチームの活動紹介に聞き入る参加者

小久慈市民センターで「まちづくり交流会」が開催され、まちづくり協議会と未来づくり事業の、朝市、小久慈焼、カフェ、じゅうねの5チームの活動を画像を使いながら紹介。子どもたちと一緒に活動する工夫などの意見も出され、有意義な交流会となりました。(大久保)

交通指導員委嘱状交付式

交通指導員委嘱状交付式 5月2日



委嘱状を掲げる交通指導員たち

市役所で交通指導員の委嘱状交付式が行われました。指導員は通学路での児童・生徒やイベント時の歩行者安全確保などを行います。今回委嘱された指導員は15名。隊長の熊谷好行さんは「死亡事故0を目指して、運転手に注意を呼び掛けていきたい」と意気込みを語りました。

長内川水源を訪ねて

長内市民センター「じもとの魅力見つけ隊」 5月14日



長靴を履いて、さらに上流を目指す参加者

地域の魅力を再認識する「じもとの魅力見つけ隊」が長内川の水源を探索。長内川川の会の案内で、小学生を含めた23人が山根町上戸鎖の上流を目指して歩みを進めました。中戸鎖洞清水と新失せ水洞に立ち寄り、新緑のシャワーを浴びて爽快な水源探しになりました。(大石)



小渡 正利
リポーター



大石 純夫
リポーター